

シャープ新中期経営計画下における 知財・無形資産戦略の**変革と展望**

FY2025-2027

Gemini Deep Research

 知的財産  戦略分析  グローバル展開

エグゼクティブサマリー

「シャープらしさ」の再興

新中期経営計画（FY2025-2027）は「シャープらしさ」の再興と持続的成長を掲げ、独創的な価値創造を目指す

無形資産戦略の転換

従来の技術偏重から、ブランド価値、顧客ネットワーク、データ、ソフトウェアの統合的活用へ

事業変革の加速

ブランド事業のグローバル拡大、コア技術開発の加速、AI・データ活用を前提とした変革推進

成功の鍵

無形資産の戦略的構築・活用による競争優位性の再確立が「再成長」の原動力に

シャープの現行知財・無形資産戦略

コア技術資産

IGZO、プラズマクラスターなど独自技術開発を重視

事業ごとに中核技術分野を明確化

差別化を目指した選択的研究開発投資

知財管理

知財部門の分社化（SIPI）によるIP収益化

7,500件超の通信規格必須特許（SEP）保有

国際標準化活動への積極的参画

ブランド戦略

「Be Original.」「誠意と創意」のブランド理念

グローバルな商標・意匠の出願・権利化

デザインを通じた「笑顔の品質」の追求

データ・ソフトウェア

COCORO MEMBERSによる顧客データ基盤

独自AI技術「CE-LLM」の開発

AIoTプラットフォームの構築

新中期経営計画の戦略的特徴

基本方針

「再成長」と「シャープらしさの再興」を掲げる
創業精神「誠意と創意」に立ち返る
独創的なモノやサービスで社会に貢献

主要テーマ

- ① ブランド事業のグローバル拡大
- ② コア技術開発と人的資本の強化
- ③ 成長をドライブするマネジメント力の強化

重点投資分野

AI/ITソリューション、ロボティクス
衛星通信、美容・ヘルスケア
AIoT、ペロブスカイト太陽電池

事業再編

量産型ディスプレイからの撤退
車載・産業用途など特殊分野への集中
亀山第2工場の鴻海精密工業への譲渡

今後の展望：4つの戦略シナリオ

1 コア技術・新技術の ライセンス強化

新分野特許の**戦略的取得**と活用

SIPIによるIP収益化の加速

特殊ディスプレイ・AI・衛星技術を**重点分野**に

2 ブランド価値と顧客体験 中心のエコシステム

グローバルブランド**管理**の強化

「**シャープらしさ**」を体現する製品・UX設計

独自デザインと商標の**戦略的活用**

3 データ駆動型サービスと 価値創造

COCORO MEMBERSデータの**高度活用**

CE-LLMによる**独自AIサービス**展開

データ・ソフトウェアによる**新たな収益源**創出

4 戦略的アライアンスと オープンイノベーション

外部技術・**知見**の**積極的**取り込み

協業時の**IP管理**の**最適化**

産学連携による**コア技術強化**と**価値最大化**

成功のための鍵となる要素

⚡ IPポートフォリオの動的最適化

非コアIP整理と新成長分野への集中投資
新技術領域での特許取得・保護の強化
戦略的特許による市場競争優位性確立

🌐 グローバルブランド管理の高度化

「シャープらしさ」の一貫した展開
地域ごとの適応と価値訴求
ブランド資産の体系的計測と投資効果管理

🛡️ データガバナンスとAI活用基盤

顧客データの戦略的活用とプライバシー保護
CE-LLMの技術優位性の確保と進化
データセキュリティとコンプライアンスの強化

📦 横断的無形資産マネジメント

全社的な無形資産重視文化の醸成
知財、ブランド、データ、人材の統合管理
価値創造に直結する無形資産評価の確立

まとめ

- 1 シャープの新中期経営計画は**知財・無形資産戦略**の大きな転換点
- 2 従来の「**技術中心**」から「**多様な無形資産の統合活用**」へ
- 3 **4つの戦略シナリオ**（コア技術ライセンス強化、ブランド価値エコシステム、データ駆動型サービス、戦略的アライアンス）を複合的に推進
- 4 無形資産を核とした**競争優位の再確立**がシャープの「**再成長**」と「**シャープらしさ**」実現の鍵

66 結論

技術、ブランド、データ、組織能力といった無形資産の総力を結集し、市場における**独自の競争優位性**を再確立することが、持続的成長への道筋となる